

いじめの防止等のための基本的な方針（平成 25 年 10 月 11 日 文部科学大臣決定）以降のいじめの存在が報道等されている自殺事件等の例

事件概要	学校いじめ対策委員会（22 条）	重大事態対処（28 条）	14 条 3 項 機関
<ul style="list-style-type: none"> 山形県 天童市立中学 1 年女子生徒 2014/1/7 自殺（山形新幹線にはねられる） 自宅ノートに「陰湿ないじめにあっていた」等と記載 全校アンケートで、13 人がいじめを直接見聞きしたと回答（うわさを含めると全校生徒の 1/4 以上の 100 名以上が回答） 	<p>事件当時、存在せず</p> <ul style="list-style-type: none"> 中間調査において、教職員は、「一人であることが多かった」とだけでいじめを認識した者はなかったと報告 2013 年 6 月、7 月に保護者が担任にいじめとして相談（担任は 9 月にも女子生徒と面談機会あり） 	<ul style="list-style-type: none"> 遺族の全校アンケート結果の開示要望に対し、非開示の方針 第三者委員会の要綱について、遺族の合意等なく決定 	<p>事件当時、存在せず</p>
<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島県 鹿児島市立中学 2 年女子生徒 2014/1/8 頭・腰骨折の重症（集合住宅四階から飛び降り） 現場には「もう限界」と書かれたノート。女子生徒は「いじめの実態を調べて下さい」と事件後に訴え。 生徒の保護者も「集団で悪口を言われた」と聞いた等と証言。 	<p>事件当時、存在せず</p> <ul style="list-style-type: none"> 女子生徒は担任に対し 2013 年 11 月にいじめを相談し、12 月にも面談 担任は、校内の生徒指導委員会に報告せず 	<p>(確認できた報道なし)</p>	<p>事件当時、存在せず</p>
<ul style="list-style-type: none"> 広島県立 総合技術高校 1 年男子生徒 2014/2/24 自宅にて自殺 2013 年 9 月以降、部室ロッカーを荒らされるなどの被害 2014/3/26 いじめが自殺の要因の一つとの調査結果を学校が発表 	<p>事件当時、存在（名称：いじめ防止等委員会） ただし、学年主任等のみの構成 （学級担任等は必要に応じ参加）</p>	<p>(確認できた報道なし)</p>	<p>事件当時、存在（ただし、いじめ問題対策連絡協議会（14 条 1 項）等と同一組織）</p>
<ul style="list-style-type: none"> 福岡県 私立高校 3 年男子生徒 2013/11/12 自殺（マンションから飛び降り） 現場のタブレット端末に「(同級生に対し)絶対に許せない」などとの記載 学校の調査で教室の手すりに粘着テープで縛られたり、堅いパンで殴る等が判明（学校はいじめと断定はせず） 県警は同級生 7 名を、熱したおたまを口元に押し当てるなどの一年以上にわたる暴行犯容疑で書類送検（いじめに当たるとも判断） 	<p>事件当時、存在（名称：生徒健全育成委員会） ただし、校長、教頭、学年主任のみの構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 事件については、いじめアンケートに回答もなく、カウンセラーにも相談はなかった <p>※現在、心理の専門家、元公立高校校長等外部人材の参加による改組を検討中</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校は、弁護士や臨床心理士からなる第三者委員会を設置（2014/3/27 発表） これに対し、遺族側弁護士は、委員の人選手続に遺族の要望が反映されていないと主張 遺族も、突然の報告として、推薦する弁護士の追加を要望するとしている 	

第22条「学校におけるいじめの防止等の対策のための組織」 構成員の全国例

- ① ア いじめの防止等の対策のための組織「いじめ対策委員会」の設置
いじめの防止等を実効的に行うため、次の機能を担う「いじめ対策委員会」を設置する。

〈構成員〉

校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、学年主任（生徒指導担当）、特別支援コーディネーター、養護教諭、スクールカウンセラー

②

1 いじめ対策委員会の設置について

- いじめ対策委員会は、学校長が任命した教頭、指導教諭、学年主任、生徒生活指導部長(いじめ対策主任)、人権教育部長、を中心に、養護教諭、スクールカウンセラーなどをメンバーとして設置する。なお、メンバーは実態等に応じて柔軟に対応することも考える。

③

山形市立東小学校「いじめの防止対策会議」（いじめ防止対策推進法第22条に基づく必置組織）

- 校内職員：校長・教頭・教務主任・養護教諭・特別支援教育コーディネーター・各学年主任
生徒指導主任・教育相談員（他 市特別支援指導員 等）・加害及び被害児童担任
○校外関係者：PTA会長・PTA副会長・地区民生児童委員 ←主に、情報提供 等で
（事案により、スポーツ少年団本部長・町内会長及び区長 等）

④

2 学校の組織づくりに向けて

学校は、当該校の複数の教職員等によって構成される「いじめ防止対策委員会」を組織する。日頃からいじめの問題等、児童生徒指導上の課題に対応するための組織として位置付けている「企画会議」や「児童指導部会」「生徒指導部会」等、既存の組織を活用することは、法の趣旨に合致するものである。必要に応じて、心理や福祉の専門家、弁護士、医師、教員・警察官経験者など外部専門家の参加を求めることも効果的である。

⑤

2 学校におけるいじめ防止等の対策のための組織

(1) 生徒指導委員会

校長、教頭、生徒指導主事、養護教諭、学級担任等からなる、いじめ防止等の対策のための生徒指導委員会を設置し、必要に応じて委員会を開催する。

出典：①長浜市立鏡岡中学校「学校いじめ防止基本方針」、②「浪速高等学校・浪速中学校 いじめ防止基本方針」、③「山形市立東小学校・いじめ防止基本方針」（平成25年12月策定）、④「横浜市いじめ防止基本方針」（平成25年12月横浜市）、⑤「上島町立弓削小学校いじめ防止基本方針」（平成25年12月策定）より小西洋之事務所作成

天童中1死亡

部活動などいじめ確認

聞き取り 中間報告、遺族に提示

天童市の田中十一年の女子生徒(16)が山形新報記者に「いじめを受けていた」といって死亡した。いじめが原因で死亡した生徒は、天童市立天童中学校の女子生徒で、今年3月に死亡した。いじめが原因で死亡した生徒は、天童市立天童中学校の女子生徒で、今年3月に死亡した。

天童市の田中十一年の女子生徒(16)が山形新報記者に「いじめを受けていた」といって死亡した。いじめが原因で死亡した生徒は、天童市立天童中学校の女子生徒で、今年3月に死亡した。

聞き取りの結果、中間報告が遺族に提示された。いじめが原因で死亡した生徒は、天童市立天童中学校の女子生徒で、今年3月に死亡した。

(平成26年)3月20日(土曜日)

社会

1頁

山形新聞

アンケート調査

市教委が方針

天童市の田中十一年の女子生徒(16)が山形新報記者に「いじめを受けていた」といって死亡した。いじめが原因で死亡した生徒は、天童市立天童中学校の女子生徒で、今年3月に死亡した。

アンケート調査の結果、市教委が方針を示した。いじめが原因で死亡した生徒は、天童市立天童中学校の女子生徒で、今年3月に死亡した。

アンケート調査の結果、市教委が方針を示した。いじめが原因で死亡した生徒は、天童市立天童中学校の女子生徒で、今年3月に死亡した。

アンケート調査の結果、市教委が方針を示した。いじめが原因で死亡した生徒は、天童市立天童中学校の女子生徒で、今年3月に死亡した。

出典：平成26年4月7日・28日参議院決算委員会提出資料より小西洋之事務所作成
平成26年6月10日 参議院文教科学委員会 民主党・新緑風会 小西洋之

平成26年4月7日 参議院決算委員会 民主党・新緑風会 小西洋之
出典：2014年3月29日・3月18日山形新聞より小西洋之事務所作成

出典：平成26年4月7日参議院決算委員会提出資料より小西洋之事務所作成
平成26年4月28日 参議院決算委員会 民主党・新緑風会 小西洋之

中2女子飛び降り重傷

鹿児島県 鹿屋市

鹿児島県鹿屋市立中学校2年の女子生徒が1月、鹿屋市街の集合住宅4階から飛び降り、頭を壁の角を打ち、重傷を負った。市教育委員会は、生徒が飛び降りたのは、担任教師と生徒の間にあったトラブルが原因だと見られる。生徒は、飛び降りた後、救急車で運ばれたが、重傷を負った。市教育委員会は、生徒が飛び降りたのは、担任教師と生徒の間にあったトラブルが原因だと見られる。生徒は、飛び降りた後、救急車で運ばれたが、重傷を負った。

飛び降りたのは、担任教師と生徒の間にあったトラブルが原因だと見られる。生徒は、飛び降りた後、救急車で運ばれたが、重傷を負った。市教育委員会は、生徒が飛び降りたのは、担任教師と生徒の間にあったトラブルが原因だと見られる。生徒は、飛び降りた後、救急車で運ばれたが、重傷を負った。

中2が4階から転落重傷

鹿児島県 鹿屋市

鹿児島県鹿屋市立中学校2年の女子生徒が1月、鹿屋市街の集合住宅4階から飛び降り、頭を壁の角を打ち、重傷を負った。市教育委員会は、生徒が飛び降りたのは、担任教師と生徒の間にあったトラブルが原因だと見られる。生徒は、飛び降りた後、救急車で運ばれたが、重傷を負った。

出典：平成26年4月7日・28日参議院決算委員会提出資料より小西洋之事務所作成
平成26年6月10日 参議院文教科学委員会 民主党・新緑風会 小西洋之

平成26年4月7日 参議院決算委員会 民主党・新緑風会 小西洋之

出典：2014年2月13日日本経済新聞沖縄朝刊 日本経済新聞記事データベースより小西洋之事務所作成

2014年2月12日朝日新聞朝刊 朝日新聞記事データベースより小西洋之事務所作成

出典：平成26年4月7日参議院決算委員会提出資料より小西洋之事務所作成
平成26年4月28日 参議院決算委員会 民主党・新緑風会 小西洋之

福岡の高3自殺 学校が調査委

遺族側 人権団に交際
福岡県の私立高3年の
男子生徒(当時18)が昨

年11月、いじめ被害者推測される文書をタレツキ端末に残し、マンシヨムから飛び降り自殺した。遺族側が人権団に調査を依頼し、調査の結果、調査委員会の設置を求めた。

も臨床心理士の協力も要し、調査委員会を設置し、調査結果を公表した。

遺族側が人権団に調査を依頼し、調査の結果、調査委員会の設置を求めた。

調査委員会の設置を求めた。

調査委員会の設置を求めた。

調査委員会の設置を求めた。

調査委員会の設置を求めた。

福岡の高3自殺 父「背景にいじめ確信」

昨年11月、いじめ被害者推測される文書をタレツキ端末に残し、マンシヨムから飛び降り自殺した福岡県内の私立高3年の

男子生徒(当時18)の父(当時57)は、記者会見で「私、昔からいじめを疑っていた。自殺の背景を調査してほしい」と訴えた。

父(当時57)は、記者会見で「私、昔からいじめを疑っていた。自殺の背景を調査してほしい」と訴えた。

父(当時57)は、記者会見で「私、昔からいじめを疑っていた。自殺の背景を調査してほしい」と訴えた。

高3男子自殺で 7人を書類送検

福岡県警、疑った疑い
昨年11月にマンシヨムから飛び降り自殺した福岡県内の私立高3年の男子

男子生徒(当時18)が自殺した。県警は自殺との因果関係は不明としているが、「いじめ」を疑った疑いで書類送検した。

男子生徒は昨年11月14日未明、同県春日市のマンシヨムから飛び降りて自殺した。県警は「いじめ」を疑った疑いで書類送検した。

男子生徒は昨年11月14日未明、同県春日市のマンシヨムから飛び降りて自殺した。県警は「いじめ」を疑った疑いで書類送検した。

調査委員会の設置を求めた。

その都度解決し「恒常的ないじめなかった」

「調査・確認に時間要し」

卒業後の第三者委員会設置は？

市教委の見解

各記者と杉原課長のやり取りは主に次の通り。

【経緯】市内の市立中学校の男子生徒(16日に卒業)へのいじめ問題について、市教育委員会は19日午後4時から市教育会館で、杉原妙子教育指導課長と徳重富雄課長補佐らがメディアへの取材に応じた。第三者委員会については「法に則って設置した」と説明し、卒業式を終えた後の設置時期については「事実確認のための調査に時間を要した」と弁明した。【幾野伝】



いじめには双方があつて、言ひ分はいつまでも噛み合わない。今回は被害者がレコーダーで録音していたり、状況を再現出来る材料は客観的にあつたはず。杉原課長「レコーダーの中身は聞いており、被害者へのからかひがあつたことは認識しており、学校にも対応を求めた。日常からの「死ぬ」とか差別的な言葉はからかひのレベルではなく、それをもちつていじめとは認め

杉原課長「国が出している基本方針に基づいて忠実に進めてきた。被害者と協議する認識がなかった。市教委の中で中立性、公平性が担保できるような考えで設置を準備してきた。

付帯決議には被害者に寄り添うべきとの文言もあるが、杉原課長「被害者に寄り添いたい気持ちはあり、保護者とも連携を取つて説明してきたつもりだったが、伝わらなかつたといふこと。訴えられていた中身と学校、市教委が調べてみての中身が合わないことがあつたので、重大ないじめであるとして判断するの

杉原課長「あくまでもいじめはあつたといふことで調査してきた。だから今回、調査委員会を立ち上げた。いじめの言葉が証拠としてありながら、それでも向かつ双方の意見が噛み合わないから、調査委員会の立ち上げに時間が掛かつたといふが、訴えがあつた時点で早急な対応が出来なかつたのか。

対策なのか。杉原課長、法が出来るまでは、警察や市教委が入つて対応して、一つひとつの事案については幾らか整理してきた。その時に、被害を訴える保護者にも一定の理解を得られ、その都度解決したと認識していた。1年時からいじめがあつたという認識ではなかつた。しかし、そうではなかつたといふことなので、それも含めて調査委員会に話したい。生徒は3年間で何件のいじめがあつたと市教委は認識しているのか。

杉原課長「3年間で3件で、うちいじめは1件で2件はそれより大きい暴力事案だつた。3年生になつて4月と8月に暴力事案が立て続けに起きて、被害生徒は2学期から学校に行けなくなつていった。それでも学校、市教委はまた調査するといふような態度な判断がなされたのか。

杉原課長「まだ当時は法も出来てなくて、まずは被害生徒が学校に行けるように学校は家庭訪問で丁寧に対応した。市教委も保護者に電話して

生徒の様子なども聞いた。昨年12月には、大津市で自殺した中学生の男性遺族が代理人になつて、第三者委員会の設置要求を繰り返してきたが、結局それから3ヶ月も経つて卒業式が終わつたからの委員会設置は、

どう考えても対応が遅すぎないか。杉原課長「被害生徒の訴えの中身と加害生徒の言ひ分がなかなか噛み合わなかつた。12月の訴え時には、まずはもう一度学校が警察を交えて調査内容を確認することから始めた。

客観的にいじめと言えぬ事実があつて、生徒はそれが原因で学校に通えなくなつていくわけだ、それでもまだグレイゾーンを詰めていくというのにはあまりに悠長すぎないか。1年時からの恒常的ないじめがあつたかという認識があつたのか。杉原課長「言葉や暴力のいじめが恒常的なあつたとはとらえていない。

本紙記者 徳重富雄・紀州版 徳重富雄・紀州版 徳重富雄・紀州版 徳重富雄・紀州版 徳重富雄・紀州版 徳重富雄・紀州版 徳重富雄・紀州版 徳重富雄・紀州版 徳重富雄・紀州版 徳重富雄・紀州版

Handwritten text, possibly a signature or a list of names, located in the upper right quadrant of the page. The text is faint and difficult to decipher.